

草丈がやや長めです。  
遅めの穂肥で倒伏防止を！



出穂期は早生で平年比3日程度、中生で2日程度早まる見込み

実証圃のコシヒカリは、指標比で「草丈やや長め」、「茎数やや少なめ」、「葉色は並の状況です。天候は曇雨天が続いており倒伏を助長しやすい気象条件となっておりますので、1回目穂肥は遅めに施用し2回目は適期にしっかり実施しましょう。

### 1. 出穂期の予想

表1 品種別出穂期予想と穂肥時期等

【連休移植】

(月/日、kg/10a)

品種名	幼穂形成期	出穂期	穂肥窒素量の合計(kg/10a)	穂肥時期		湛水管理開始時期
				1回目	2回目	
こしいぶき	7/3	7/26	2	—	7/12 (-14)	7/1 ~
ゆきん子舞	7/3	7/25	4	—	7/11 (-14)	6/30 ~
ひとめぼれ	7/4	7/26	2~3	—	7/12 ~ 7/16 (-14 ~ -10)	7/1 ~
コシヒカリ	7/13	8/5	1~3	7/18 ~ 7/21 (-18 ~ -15)	7/26 (-10)	7/11 ~
わたぼうし	6/30	7/22	2~3	—	7/10 ~ 7/12 (-12 ~ -10)	6/27 ~
こがねもち	7/8	7/31	1~3	7/13 ~ 7/16 (-18 ~ -15)	7/21 (-10)	7/6 ~
五百万石	6/29	7/21	1~2	—	7/9 (-12)	6/26 ~
越淡麗	7/16	8/9	2	7/22 (-18)	7/30 (-10)	7/15 ~

【5月10日頃移植】

(月/日、kg/10a)

品種名	幼穂形成期	出穂期	穂肥窒素量の合計(kg/10a)	穂肥時期		湛水管理開始時期
				1回目	2回目	
こしいぶき	7/5	7/28	2	—	7/14 (-14)	7/3 ~
ゆきん子舞	7/5	7/27	4	—	7/13 (-14)	7/2 ~
ひとめぼれ	7/6	7/28	2~3	—	7/14 ~ 7/18 (-14 ~ -10)	7/3 ~
コシヒカリ	7/15	8/7	1~3	7/20 ~ 7/23 (-18 ~ -15)	7/28 (-10)	7/13 ~
わたぼうし	7/2	7/24	2~3	—	7/12 ~ 7/14 (-12 ~ -10)	6/29 ~
こがねもち	7/10	8/2	1~3	7/15 ~ 7/18 (-18 ~ -15)	7/23 (-10)	7/8 ~
五百万石	7/1	7/23	1~2	—	7/11 (-12)	6/28 ~
越淡麗	7/18	8/11	2	7/24 (-18)	8/1 (-10)	7/17 ~

※砂壌土など低地力ほ場では、1kg多めに施用し、後期栄養確保に努めましょう。

## 2. コシヒカリ穂肥施用のポイント ~出穂後の後期栄養を確保し、倒伏させないために~

### 【施肥体系別 穂肥施用時期・量のめやす】

○管内のコシヒカリは、草丈が平年に比べ長く葉色も濃いイネ姿であることから1回目穂肥は通常より2~3日程度遅めに実施しましょう。

○2回目穂肥は、後期栄養を確保するため規定量（N1~1.5kg）を適期に確実に施用しましょう。

○出穂10日前の気象予報（1か月予報）が「平年より高い」と予想される場合は、下表を参考に出穂直前の穂肥を実施し後期栄養確保に努めましょう。

分施栽培では1回目の穂肥施用は遅め・控えめもしくは見送ることとし、2回目の穂肥を確実に施用しましょう。穂肥量が不足する場合は、3回目の穂肥施用も検討しましょう。

**表2 施肥体系別穂肥時期・量のめやす** ※今年の稲姿と天候を考慮した時期です。

施肥体系	穂肥に使用する肥料の種類	出穂前日数							
		25日前	20日前	15日前	15日前	12日前	10日前	6日前	3日前
分 施	化学肥料				1回目		2回目		3回目 ★出穂3日前葉色が32(葉色板4.2)以下の場合にN1.0kg
	有機質肥料								
	有機由来N50%		1回目			2回目			3回目 ★出穂6日前葉色が33(葉色板4.3)以下の場合にN1.0kg
	有機由来N100%	1回目		2回目				3回目 ★出穂6日前葉色が33(葉色板4.3)以下の場合にN1.0kg	

### 【基肥一発肥料使用における穂肥対応】

基肥一発肥料は穂肥施用の必要はありませんが、場合によっては多少の穂肥を必要とする場合があります。

例年後期栄養不足のほ場が見受けられますので出穂10日前頃の追肥を実施し登熟の向上を図りましょう。

○元々後期栄養が持続しない低地力ほ場、または極端に葉色がさめている。

○基肥一発肥料の施用量が少ない等。